

2023年2月27日  
住友生命保険相互会社

## スミセイ「わが家の防災」アンケート 2023 ～防災対策費の理想と現実にギャップ、約5割が避難指示発令時も“避難しない”～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳）は、ご家庭の防災対策の実態や意識を把握するアンケートを実施しました。

当アンケートでは、毎年様々な地震や風水害等が発生する日本において、人々の防災に対する意識の変化や備えの状況を2016年から調査しており、今回で8回目を迎えます。

2022年も、地震や大雨による洪水・豪雪が発生し、人々の命・暮らしを襲いました。被災された皆さまにはあらためまして謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興とご健康を、心からお祈り申し上げます。

### ◆調査結果の概要（詳細は別紙）

#### ○最も備えが必要だと思う災害は「地震」が約8割を占める（3ページ）

約8割（76.2%）が「地震」と回答し、8年連続で1位に。2位以下は「台風」（8.9%）、「大雨・洪水」（7.6%）が続いた。

#### ○年間の防災対策費は平均10,583円で過去最高、「0円」回答は約4割で過去最低となるも、防災対策費の理想と現実に26,891円ものギャップ（4～12ページ）

家庭の防災対策の評価（100点満点）は平均36.0点と低く、防災対策未実施者は3割（33.7%）に達した。

年間の防災対策費は平均10,583円で過去最高、「0円」回答も約4割（36.7%）で過去最低となり、防災対策にお金をかける家庭の増加が見られた。しかしながら、十分な対策を行う場合に必要な費用（理想）が平均37,474円であるのに対し、実際の支出（現実）は平均10,583円と、26,891円のマイナスになっている。

#### ○災害時、避難指示発令時も“避難しない”が約5割、その背景に新型コロナウイルス等の感染症リスクへの懸念あり（13～15ページ）

災害発生危険度ととるべき行動を5段階で示した「警戒レベル」を元に避難を行うタイミングをきいたところ、「警戒レベル4 避難指示」が発令された段階でも“避難しない”が約5割（49.6%）を占めた（“避難しない”＝「警戒レベル5 緊急安全確保」の段階での避難（23.7%）と「避難しない」（25.9%）の合計）。なお、いかなる段階でも「避難しない」は約3割（25.9%）で、その理由として約4割（38.2%）が「自宅に留まる方が感染症のリスクが小さいと思う」を挙げた。

## 【 調査概要 】

1. 調査期間 : 2022年12月19日～12月22日
2. 調査方法 : インターネット応募による選択方式および自由記入方式
3. 調査対象 : 1,000人(全国の男女各500人)

調査対象者の内訳(人)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	全体
北海道地方	17	24	7	8	7	9	10	41
東北地方	39	29	17	18	13	7	13	68
関東地方	217	205	83	78	77	95	89	422
中部地方	74	80	26	26	30	38	34	154
近畿地方	92	91	44	46	35	31	27	183
中国・四国地方	31	35	13	13	17	8	15	66
九州地方	30	36	10	11	21	12	12	66
合計	500	500	200	200	200	200	200	1000

- 北海道地方 : 北海道
- 東北地方 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 関東地方 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地方 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 近畿地方 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国・四国地方 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
- 九州地方 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

## 【 目次 】

1. 最も備えが必要だと思う災害	3
2. 家庭の防災対策	
a. 家庭の防災対策の評価	4
b. この一年間で新たに実施した家庭の防災対策	5
c. 一年以上前から実施している家庭の防災対策	6
d. 防災対策費の理想と現実	7
e. 今後、実施しなくてはならないと思う防災対策	8
f. 防災対策未実施の理由	9
g. 非常用飲料水および非常用食品の備蓄量	10
h. ライフライン停止時における在宅避難の対策	11
3. 自宅の災害危険度の把握状況	12
4. 避難準備・避難行動	
a. 避難準備・避難を行うタイミング	13
b. 避難しない理由	14
c. 避難する場所・分散避難を選択しない理由	15

【 調査結果 】

1. 最も備えが必要だと思う災害

8年連続で1位になったのは「地震」で約8割(76.2%)を占め、以下「台風」(8.9%)、「大雨・洪水」(7.6%)が続きました。

2022年も地震や噴火・台風等、さまざまな災害に見舞われましたが、前年から全体で2ポイント以上アップしたのは「大雨・洪水」でした。特に東北の増加は13.0ポイントと顕著で、2022年8月の豪雨被害が影響していると考えられます。

2位の「台風」は、全体では前年比0.8ポイントのみのアップでしたが、中国・四国では9.9ポイント、北海道・九州では5ポイント超の増加となりました。

◆あなたにとって最も備えが必要だと思う災害は何ですか。

(数字は%、○内数字は順位)

位	2023 調査	全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
1	地震	76.2	78.0①	66.2①	80.1①	81.8①	78.1①	63.6①	54.5①
2	台風	8.9	7.3③	1.5	8.1②	6.5③	6.6②	16.7②	27.3②
3	大雨・洪水	7.6	0.0	16.2②	6.6③	7.8②	4.9③	16.7②	7.6③
4	津波	2.4	9.8②	5.9③	1.2	0.0	4.4	1.5	3.0
5	大雪・雪崩	1.3	4.9	4.4	0.7	2.6	0.5	0.0	0.0
6	噴火	1.1	0.0	4.4	1.2	0.0	1.6	0.0	0.0
7	土砂災害	0.9	0.0	0.0	0.7	0.6	1.6	0.0	3.0
	その他		0.0	1.5	0.9	0.0	1.1	0.0	3.0
9	竜巻	0.6	0.0	0.0	0.5	0.6	1.1	0.0	1.5
10	落雷	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

【前年調査】

(数字は%、○内数字は順位)

位	2022 調査	全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
1	地震	77.2	79.6①	74.2①	84.2①	71.2①	74.3①	72.6①	60.7①
2	台風	8.1	1.9	3.2③	5.1②	8.3③	14.2②	6.8③	21.3②
3	大雨・洪水	5.6	1.9	3.2③	4.1③	9.0②	3.8③	11.0②	11.5③
4	津波	2.7	3.7③	1.6	2.2	3.2	3.3	2.7	3.3
5	大雪・雪崩	2.5	9.3②	9.7②	1.0	3.8	1.6	1.4	0.0
6	土砂災害	1.4	1.9	1.6	0.7	1.3	1.6	4.1	1.6
7	噴火	0.8	0.0	0.0	1.5	1.3	0.0	0.0	0.0
	その他		0.0	1.6	1.0	0.6	0.5	0.0	1.6
9	竜巻	0.5	1.9	3.2③	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0
10	落雷	0.4	0.0	1.6	0.0	0.6	0.5	1.4	0.0

## 2. 家庭の防災対策

### a. 家庭の防災対策の評価

家庭の防災対策の評価についてきいたところ、平均点は前年から微減の 36.0 点でした。年代別では 8 年連続で 60 代が 1 位になりました。

地域別では、2018 年に発災した北海道胆振東部地震以降、継続して北海道が 1 位 (39.6 点) となっています。2 位には、2022 年 8 月に豪雨被害を受けた東北 (38.9 点) が入りました。

◆ご家庭の防災対策に点数をつけるとすれば、100 点満点中何点ですか。

#### 【平均：全体・男女別】

(数字は点数、○内数字は順位)

	今回	前年	前々年
全体	36.0	36.8	37.4
男性	37.5	38.8	39.8
女性	34.4	34.8	34.9

#### 【平均：年代別】

位	年代	今回	前年	前々年
1	60代	39.8	42.8①	40.4①
2	50代	37.7	37.8②	38.1③
3	40代	35.1	37.4③	39.4②
4	20代	33.6*	33.1④	36.0④
5	30代	33.6*	32.8⑤	32.8⑤

\* 今回・20代 33.58 点、30代 33.56 点

#### 【平均：地域別】

位	地域	今回	前年	前々年
1	北海道	39.6	40.4①	41.8①
2	東北	38.9	35.9④	32.2⑥
3	中国・四国	38.0	33.7⑥	34.3⑤
4	関東	37.7	38.7②	39.9②
5	九州	33.6	37.5③	39.6③
6	中部	32.9	33.6⑦	31.8⑦
7	近畿	32.7	35.3⑤	36.2④

b. この一年間で新たに実施した家庭の防災対策

1位の「特になし」が約5割（45.1%）を占め、新たな防災対策に取り組んでいる人はそれを少し上回る結果となりました（「特になし」（45.1%）を除いた54.9%）。2位は「非常用飲料水の備蓄」（25.0%）、3位は「非常用食品の備蓄」（22.7%）が続き、以下8位まで前年同様のランキングになりました。

なお、近年、非常食の備蓄方法として注目が集まる「ローリングストック」は9位（10.5%）、2022年6月に運用が開始された「線状降水帯予想を確認できるアプリ等」は15位（3.0%）に入りました。

◆この一年間でご家庭の防災対策で新たに実施したことは何ですか。（複数回答可）

「特になし」（45.1%）を除く54.9%が、新たな防災対策に取り組んでいる。

（数字は%、○内数字は順位）

位		今回	前年
1	特になし	45.1	43.4①
2	非常用飲料水の備蓄	25.0	29.5②
3	非常用食品の備蓄	22.7	25.6③
4	非常用持ち出し袋の準備	18.9	20.8④
5	ハザードマップ（被害予測地図）の確認	16.0	16.6⑤
6	寝室に懐中電灯やスリッパ等を用意	14.2	14.7⑥
7	避難場所・経路の確認	12.9	14.6
8	家具などの転倒・落下防止策	10.6	11.8
9	ローリングストック	10.5	—*
10	家族間での連絡方法の確認	7.2	9.3
11	家屋の耐震化	5.7	5.7
12	防災訓練の実施・参加	3.7	4.3
	自治体や勤務先の防災情報メールに登録（キキクル以外）		4.7
14	防災冊子の入手・購入	3.4	4.3
15	線状降水帯予想を確認できるアプリ等	3.0	—*
16	キキクル（危険度分布）の通知サービスに登録	1.5	—*
17	その他	0.5	0.5

\* 前年調査時に選択肢に含めていなかった項目

c. 一年以上前から実施している家庭の防災対策

一年以上前から防災対策に取り組んでいる人は約5割（「特になし」（52.2%）を除いた47.8%）で、前年（「特になし」（48.7%）を除いた51.3%）から3.5ポイント減少しています。

10位の「ローリングストック」（5.3%）は、前問の「この一年間で新たに実施した」（9位・10.5%）と5.2ポイントの差が生じました。有効で効率的な備蓄方法として注目が集まり、浸透しつつあることがうかがえます。

◆一年以上前から、ご家庭の防災対策で実施していることは何ですか。（複数回答可）

「特になし」（52.2%）を除く47.8%が、過去から防災対策を講じている。

（数字は%、○内数字は順位）

位		今回	前年
1	特になし	52.2	48.7①
2	非常用飲料水の備蓄	13.4	14.8②
3	非常用食品の備蓄	13.0	13.7③
4	家具などの転倒・落下防止策	11.1	13.4④
5	寝室に懐中電灯やスリッパ等を用意	9.7	10.7
6	非常用持ち出し袋の準備	9.1	12.7⑤
7	避難場所・経路の確認	8.6	10.9⑥
8	ハザードマップ（被害予測地図）の確認	7.6	9.1
9	家族間での連絡方法の確認	6.6	8.7
10	ローリングストック	5.3	—*
11	家屋の耐震化	5.0	5.6
12	自治体や勤務先の防災情報メールに登録（キキクル以外）	3.5	6.4
13	防災訓練の実施・参加	3.2	4.4
14	防災冊子の入手・購入	3.0	5.3
15	キキクル（危険度分布）の通知サービスに登録	0.6	—*
16	その他	0.3	0.7

\* 前年調査時に選択肢に含めていなかった項目

#### d. 防災対策費の理想と現実

年間の防災対策費は平均 10,583 円で過去最高、「0 円」回答は約 4 割 (36.7%) で過去最低となり、防災対策にお金をかける家庭の増加が見られました。

しかしながら、十分な対策を行う場合に必要となる費用 (理想) が平均 37,474 円であるのに対し、実際の支出 (現実) は平均 10,583 円と、理想と現実と 26,891 円のギャップがあります。

支出額を地域別に見ると、北海道を除くすべてのエリアにおいて前年から顕著に増え、今年の最高額は中国・四国の 21,317 円でした。

- ◆この一年間で十分な防災対策を行う場合に必要となる費用 (理想) と、実際に支出された金額 (現実) を教えてください。

#### 【理想と現実の平均：全体】

(円)

必要な支出 (理想)	37,474
実際の支出 (現実)	10,583
差 額 (現実－理想)	▲26,891

#### 【支出平均：全体・男女別】 (円)

	今回	前年	前々年
全体	10,583	3,770	3,837
男性	11,898	3,623	4,540
女性	9,267	3,917	3,138

#### 【支出平均：地域別】 (数字は円、○内数字は順位)

位	地域	今回	前年	前々年
1	中国・四国	21,317	3,055⑥	2,717⑥
2	近畿	15,267	3,369⑤	3,215⑤
3	東北	10,040	2,741⑦	1,931⑦
4	関東	9,498	4,018③	4,713①
5	九州	9,311	4,920②	3,336④
6	中部	5,788	3,467④	3,758②
7	北海道	4,515	4,964①	3,547③

#### 【支出「0円」回答の割合：全体・男女別・年代別】

(%)

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
今回	36.7	38.4	35.0	41.5	40.5	37.0	34.5	30.0
前年	50.0	54.6	45.4	55.5	51.0	49.5	51.5	42.5
前々年	49.6	49.4	49.8	55.0	51.0	51.0	45.5	45.5

e. 今後、実施しなくてはならないと思う防災対策

1位から「非常用持ち出し袋の準備」(36.5%)、「非常用飲料水の備蓄」(36.4%)、「非常用食品の備蓄」(35.9%)と続き、上位3つは前年と同じ項目になりました。4位は前年比2.9ポイント増で「特になし」(26.1%)が入り、特に、20代では1位で約4割(37.0%)、30代では3位で3割(30.5%)に達し、若い世代の防災意識の低さがうかがえます。

なお、2022年6月に運用が開始された「線状降水帯予想を確認できるアプリ等」は15位(6.0%)でした。今後の浸透・普及が期待されます。

◆今後、あなたのご家庭で実施しなくてはならないと思う防災対策は何ですか。

現在対策済みのもも含めて回答してください。(複数回答可)

(数字は%、○内数字は順位)

位		全体	20代	30代	40代	50代	60代	前年全体
1	非常用持ち出し袋の準備	36.5	32.0③	30.0④	37.0①	39.5①	44.0①	38.0②
2	非常用飲料水の備蓄	36.4	35.0②	34.5①	33.0③	39.0②	40.5③	36.8③
3	非常用食品の備蓄	35.9	30.5④	33.5②	36.0②	38.5③	41.0②	39.2①
4	特になし	26.1	37.0①	30.5③	23.5⑤	25.0⑥	14.5	23.2⑥
5	家族間での 連絡方法の確認	25.4	19.0	22.0⑤	26.0④	30.0④	30.0⑤	27.1④
6	家具などの転倒・ 落下防止策	24.9	21.5⑤	21.0⑥	22.0⑥	28.0⑤	32.0④	26.2⑤
7	寝室に懐中電灯や スリッパ等を用意	20.6	21.0⑥	17.0	18.0	22.5	24.5	22.7
8	避難場所・経路の確認	20.5	18.5	15.5	18.5	22.0	28.0⑥	19.4
9	ハザードマップ (被害予測地図)の確認	16.7	13.0	15.0	17.5	18.0	20.0	19.1
10	家屋の耐震化	14.7	12.0	12.5	15.5	14.5	19.0	14.9
11	ローリングストック	13.1	9.5	12.0	12.0	17.0	15.0	—*
12	自治体や勤務先の防災情報 メールに登録(キキクル以外)	9.1	7.5	6.0	10.5	10.0	11.5	11.2
13	防災訓練の実施・参加	7.7	8.5	5.5	7.5	7.5	9.5	9.5
14	防災冊子の入手・購入	6.4	5.0	5.5	5.5	6.5	9.5	7.8
15	線状降水帯予想を 確認できるアプリ等	6.0	4.5	4.5	4.5	6.5	10.0	—*
16	キキクル(危険度分布)の 通知サービスに登録	5.5	6.5	4.0	4.0	5.0	8.0	—*

※「その他」: 全体0.5%、20代・60代0.5%、30代1.5%、40代・50代0.0%

\* 前年調査時に選択肢に含めていなかった項目

f. 防災対策未実施の理由

防災対策を実施していない人は3割(33.7%)を超え、若くなるにつれて多くなり、20代では約4割(42.0%)にのぼっています。

なお、未実施の理由については「特になし」が全体の4割以上(43.3%)を占め、全年代において1位になりました。特に、20代(51.2%)と40代(49.3%)では約5割と高い数値になっています。

◆この一年間またはそれ以前から防災対策を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)

※対象：この一年間で新たに実施した(前出2-b)および一年以上前から実施している(2-c)家庭の防災対策がいずれも「特になし」との回答者(337人)

(数字は%、○内数字は順位)

		全体	20代	30代	40代	50代	60代
位	人	337	84	76	73	65	39
	%	<u>33.7</u>	<u>42.0</u>	38.0	36.5	32.5	19.5
1	特になし	<u>43.3</u>	<u>51.2①</u>	36.8①	<u>49.3①</u>	36.9①	38.5①
2	何をしたらよいか分からない	27.3	26.2②	34.2②	27.4②	23.1	23.1③
3	つい先延ばしにしてしまう	26.4	23.8③	27.6	27.4②	26.2②	28.2②
4	面倒	20.8	15.5	31.6③	11.0	24.6③	23.1③
5	お金がかかる	18.1	16.7	23.7	11.0	20.0	20.5
6	やっても無駄	3.6	2.4	2.6	0.0	9.2	5.1

※「その他」：全体0.6%、20代1.2%、30代・40代・50代0.0%、60代2.6%

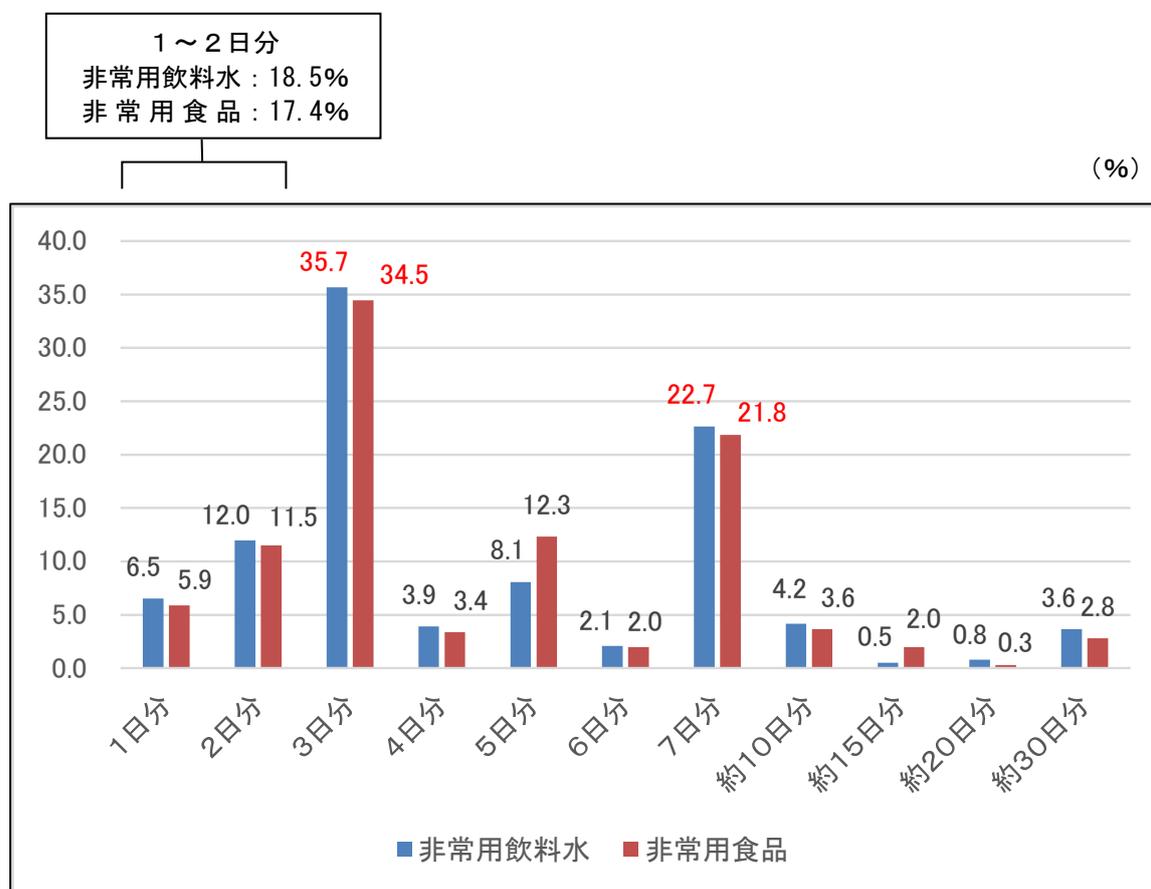
g. 非常用飲料水および非常用食品の備蓄量

非常用飲料水（対象者：384人）および非常用食品（対象者：357人）の備蓄については、「3日分」、「7日分」を用意している人が多い結果となりました。これは、国や地方公共団体等が推奨する“最低3日分、大規模災害に備えてできれば1週間分”に倣った結果になっています。その基準に満たない「2日分」以下の回答は2割未満（非常用飲料水18.5%、非常用食品17.4%）でした。万一のために、防災備蓄は多く備えておきたいものです。

◆ご家庭で、何日分の非常用飲料水および食品を備蓄していますか。

※対象：この一年間で新たに実施した（前出2-b）または一年以上前から実施している（2-c）

家庭の防災対策が「非常用飲料水」（384人）・「非常用食品」（357人）との回答者



※「それ以上」：非常用飲料水・非常用食品 0.0%

#### h. ライフライン停止時における在宅避難の対策

大規模な災害が発生すると、電気・水道・ガス・通信等にも多大な影響が発生します。ライフラインが途絶えた状況下での在宅避難についてきいたところ、約6割（59.0%）が対策を講じており、対応可能日数は「3日」が3割超（31.9%）で最多、以下は「2日」（19.2%）、「1日」（17.1%）が続き、「3日」以下の回答が約7割（68.2%）を占めました。

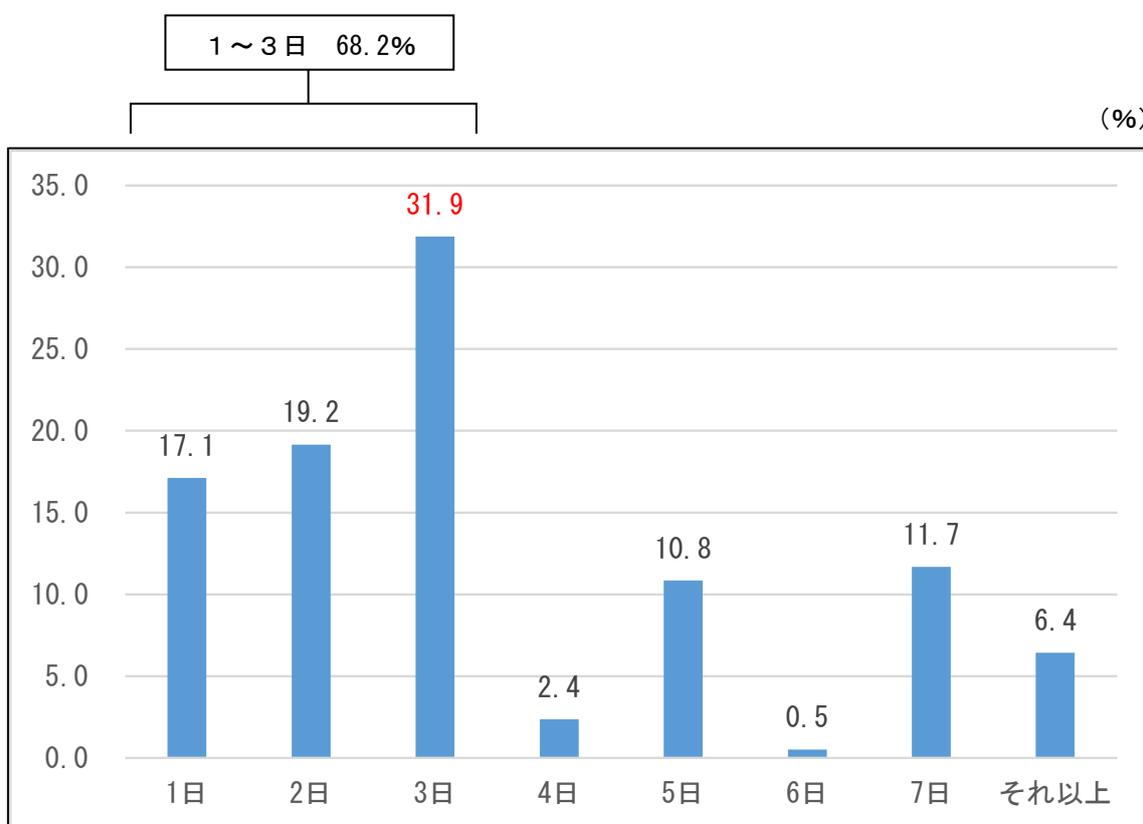
#### ◆ライフライン（電気・水道・ガス・通信等）停止時における在宅避難の対策（食事・トイレ・熱源・情報等）は講じていますか。

(%)

	講じている	講じていない
ライフライン停止時における在宅避難の対策	59.0	41.0

#### ◆現在の対策で、ライフラインが途絶えた状況下において、何日の在宅避難が可能か教えてください。

※対象：ライフライン停止時における在宅避難の対策を「講じている」との回答者（590人）



### 3. 自宅の災害危険度の把握状況

現在では様々なツールを用いて自然災害の予測や対策が可能になっています。しかし、それらを活用し、自宅の災害危険度を把握している人は2割弱（19.8%）でした。

「把握している」は、60代のみ3割を超え（32.5%）、40代以下は2割未満でした。地域別の最高は北海道（31.7%）、最下は中部（18.2%）でした。

また、「把握している」との回答者（198人）に自宅の災害危険度をきいたところ、平均値は5割超（54.6%）で、中国・四国と近畿は6割を超える高い数値になりました。

◆ハザードマップ等を用いて、ご自宅の災害危険度を把握されていますか。

【全体・男女別・年代別】 （数字は%、○内数字は順位）

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
把握している	19.8	19.4	20.2	13.0④	11.0⑤	19.0③	23.5②	32.5①

【地域別】 （数字は%、○内数字は順位）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
把握している	31.7①	19.1④	18.7⑤	18.2⑦	18.6⑥	25.8②	21.2③

◆ご自宅の災害危険度を教えてください。

※対象：自宅の災害危険度を「把握している」との回答者（198人）

【危険度平均：全体・地域別】 （数字は%、○内数字は順位）

全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
54.6	49.6⑥	57.3③	54.0④	51.4⑤	60.4②	61.5①	44.3⑦

#### 4. 避難準備・避難行動

##### a. 避難準備・避難を行うタイミング

警戒レベルとは、災害発生の危険度ととるべき避難行動を住民が直観的に理解できるように、5段階のレベルで示された情報です。警戒レベルをもとに、避難および避難準備を行うタイミングをきいたところ、最も多かったのは、“避難”が「警戒レベル4 避難指示」(32.6%)で、“避難準備”がその1つ手前の「警戒レベル3 高齢者等避難」(27.7%)でした。

特筆すべきは、「警戒レベル4 避難指示」が発令された段階でも“避難しない”(「警戒レベル5 緊急安全確保」の段階で避難(23.7%)と「避難しない」(25.9%)の合計)が約5割(49.6%)にも及ぶことです。

◆災害時、自宅が危険な場所である場合、避難準備・避難を行う警戒レベルを教えてください。

(数字は%、○内数字は順位)

警戒レベル	状況	行動を促す情報	避難準備	避難
警戒レベル1	今後 気象状況悪化のおそれ	<b>早期注意情報</b> 災害の心構えを高める	6.7⑥	4.0⑤
警戒レベル2	気象状況悪化	<b>大雨・洪水・高潮注意報</b> ハザードマップ等で避難行動を確認	9.1④	3.6⑥
警戒レベル3	災害のおそれあり	<b>高齢者等避難</b> 危険な場所から高齢者等退避	27.7①	10.2④
警戒レベル4	災害のおそれ高い	<b>避難指示</b> 危険な場所から全員退避	22.6③	32.6①
警戒レベル5	災害発生または切迫	<b>緊急安全確保</b> 命の危険 直ちに安全確保!	7.9⑤	23.7③
避難準備または 避難しない	—	—	26.0②	25.9②

※警戒レベル1～2は気象庁発表、3～5は市町村発令

「警戒レベル4 避難指示」が発令されても“避難しない”が49.6%。

#### b. 避難しない理由

災害時、自宅が危険な場所にあっても「避難しない」との回答者（259人）に理由をきいたところ、約4割（38.2%）が「自宅に留まる方が感染症のリスクが小さいと思う」を挙げました。避難時の感染症のリスクについて、未だ多くの方が不安を抱いているようです。

#### ◆災害時、あなたが避難しない理由を教えてください。（複数回答可）

※対象：災害時、自宅が危険な場所である場合（前出4-a）、いかなる警戒レベルにおいても

「避難しない」との回答者（259人）

位	避難しない理由	%
1	自宅に留まる方が感染症のリスクが小さいと思う	38.2
2	支援が受けられないのではないかと心配	25.1
3	馴染みのない場所に行くのが不安	16.6
4	車がない	12.0
5	ペット（犬、猫等）を連れていけない	10.4
6	ホテルや宿泊施設はお金がかかる	8.9
7	安全に避難できるホテルや宿泊施設を把握していない	8.5
8	自宅に避難させてくれるような、親戚がいない	7.7
9	自宅に避難させてくれるような、知人がいない	6.9
10	自宅不在時の盗難等の被害が心配	5.0
	その他	
12	知人・親戚宅は、感染対策をとりにくい	3.1
13	避難時のホテルや宿泊施設の空き状況が心配	2.7
14	小さい子どもや要介護者（高齢者や障がい者）を連れて避難できない	1.9

c. 避難する場所・分散避難を選択しない理由

災害時、自宅が危険な場所である場合の避難先は、「市町村指定の避難場所・避難所」が8割超（84.9%）で1位になりました。避難場所・避難所は多くの人が集まるため感染症のリスクが懸念されますが、選択理由として約6割（56.4%）が「避難所が最も支援を受けやすい」と回答しており、分散避難が進まない一因になっていることがうかがえます。

◆自宅が危険な場所である場合、あなたが避難する場所を教えてください。（複数回答可）

※対象：災害時、自宅が危険な場所である場合（前出4-a）、「避難しない」以外の回答者（741人）

位	避難する場所	%
1	市町村指定の避難場所・避難所	84.9
2	車中	14.7
3	ホテル等の宿泊施設	13.6
4	親戚宅	10.7
5	知人宅	4.7
6	その他	0.5

◆「市町村指定の避難場所・避難所」（多くの人が集まり密を避けられない側面あり）を選択された理由を教えてください。（複数回答可）

※対象：前問で「市町村指定の避難場所・避難所」との回答者（629名）

位	分散避難をしない理由	%
1	避難所が最も支援を受けやすい	56.4
2	ホテルや宿泊施設はお金がかかる	19.9
	安全に避難できるホテルや宿泊施設を把握していない	
4	取り残されて、支援が受けられないのではないかと心配	16.5
5	自宅に避難させてくれるような、知人がいない	14.9
	自宅に避難させてくれるような、親戚がいない	
7	避難時のホテルや宿泊施設の空き状況が心配	14.5
8	避難所の感染症対策が充分	13.2
9	車がない	11.6
10	馴染みのない場所に行くのが不安	10.7
11	ペット（犬、猫等）を連れていけない	8.4
12	小さい子どもや要介護者（高齢者や障がい者）を連れて避難できない	4.8
13	知人・親戚宅は、感染対策をとりにくい	3.7
14	その他	2.2

以上